

# 抗議文

2012年12月12日

在本邦アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ジョン・V・ルース 閣下

苫小牧市長 岩倉博文

この度、貴国がネバダ核実験場において、今月5日に27回目の臨界前核実験を実施していたとの報道を受けました。

貴国の行動は、核兵器廃絶を願う世界の人々の期待を裏切るものであり、唯一の被爆国として世界平和を願う私どもにとりまして極めて遺憾であります。先日、再選されたオバマ大統領が「核なき世界」を目指すと演説された矢先の出来事であり、言行不一致の姿勢を厳しく非難いたします。

当市は恒久平和の実現に努めるとともに、核兵器のない平和の実現に努力していくことを決意し、2002年に施行した「苫小牧市非核平和都市条例」の中で、核兵器の実験等に対する反対の表明を謳っています。「苫小牧市非核平和都市条例」を制定しているまちの市長として、市民を代表して貴国に対し強く抗議の意を表すものであります。

また、貴国が今後核軍拡競争につながる核実験を中止し、核兵器廃絶に向け主導的役割を果たすよう重ねて要請いたしますので、本国政府へ伝達されるようお願いいたします。